

ブラス・ロックバンドの最高峰 **スペクトラム**

オリジナルアルバム全5作を完全生産限定で世界初 SACD 化決定！

第一弾は 10/28 タワーレコード限定で発売

PRESS RELEASE

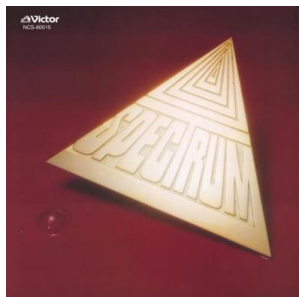
タワーレコードでは、株式会社ステレオサウンド、株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメントの協力の下、1979 年に新田一郎、兼崎順一らを中心に結成され、その独特のサウンドとビジュアルで今なお人気を博す伝説的なブラス・ロックバンド、**スペクトラム (SPECTRUM)** が、1981 年までの活動期間に残した全 5 作品を完全生産限定で世界初 SACD 化、SACD と CD のハイブリット盤としてタワーレコード限定にて再発売することが決定しました。

その第一弾は、10月28日(水)、ファーストアルバム『**SPECTRUM**』、2ndアルバム『**OPTICAL SUNRISE**』の2作、第2弾として11月25日(水)『**TIME BREAK**』『**SECOND NAVIGATION**』『**SPECTRUM BRASSBAND CLUB**』の3作をそれぞれ、全国のタワーコード、TOWERmini ならびにタワーレコードオンラインにて発売します。

今回、株式会社ステレオサウンドの協力を得て、監修に小原由夫氏(オーディオ&ヴィジュアル評論家)、湯川雅宗氏(Hot River Inc.)、サウンド・スーパーバイザーにオリジナルのレコーディングエンジニアである高田英男氏(日本音楽スタジオ協会会長、MIXER'S LAB)、さらに新マスターリングでは袴田剛史氏(ビクタースタジオ FLAIR)が担当し、現存するオリジナル・アナログ・マスターテープから最新リマスターリングを施しています。

最新鋭のマスターリング・プロセスを経て、サウンドをよりリアルに再現。スペクトラムならではの超絶テクニックをしっかりと捉え、音色の鮮度を格段に高めたマスターの完成形がここに誕生しました。

タワーレコードでは、これからも洋邦を問わず、様々な名盤を再発することで、音楽シーンの活性化に努めてまいります。

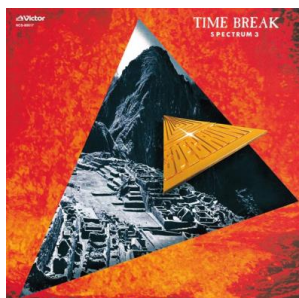


第1弾 2020年10月28日(水) (上段左より)

- ①スペクトラム SPECTRUM+ 4
- ②スペクトラム 2 OPTICAL SUNRISE+ 3

第2弾 2020年11月25日(水) (下段左より)

- ③スペクトラム 3 TIME BREAK+ 2
- ④スペクトラム 4 SECOND NAVIGATION+ 1
- ⑤スペクトラム 5 SPECTRUM BRASSBAND CLUB



1

本件に関するお問合せ先
タワーレコード株式会社広報室 谷河(やがわ)、寺浦
TEL : 03-4332-0705 Email : press@tower.co.jp

■ スペクトラム全 5 作品世界初 SACD 化概要

■ 発売日 : 第 1 弾 2020 年 10 月 28 日 (水) 発売

スペクトラム (+4) (HB/RM) (NCS-80015)

スペクトラム 2/オプティカル・サンライズ(+3) (HB/RM) (NCS-80016)

: 第 2 弾 2020 年 11 月 25 日 (水) 発売

スペクトラム 3 /TIME BREAK (+2) (HB/RM) (NCS-80017)

スペクトラム 4/セカンド・ナビゲーション (+1) (HB/RM) (NCS-80018)

スペクトラム 5/スペクトラム・ブラスバンド・クラブ (HB/RM) (NCS-80019)

■ 販売価格 : 各 4,000 円+税

■ ディスク形態 : SACD/CD ハイブリッド盤 ※世界初 SACD 化。※通常の CD プレーヤーで再生可能

■ オリジナル・アナログ・マスターテープから 2020 年最新リマスタリング。

SACD 層では、オリジナル・アナログ・マスターから忠実に変換された SACD マスター(DSD)を使用。当時のサウンドをよりリアルに再現。CD 層でもオリジナル・アナログ・マスターから DSD 変換されたデジタル・データを変換した PCM マスターを使用。通常の CD プレーヤーでの再生でも、これまでの CD とは比較にならない高音質を実現。

■ パッケージ仕様 : 通常プラケース仕様

: 小原由夫、湯川雅宗、袴田剛史による特別解説書 付き。

■ 監修 : 小原由夫 (オーディオ&ヴィジュアル評論家)、湯川雅宗(Hot River Inc.)

■ サウンド・スーパーバイザー : 高田英男 (日本音楽スタジオ協会会長/MIXER'S LAB、オリジナルのレコーディング・エンジニア)

■ マスタリング・エンジニア : 袴田剛史(ビクタースタジオ FLAIR)

■ 製造・発売 : 株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント

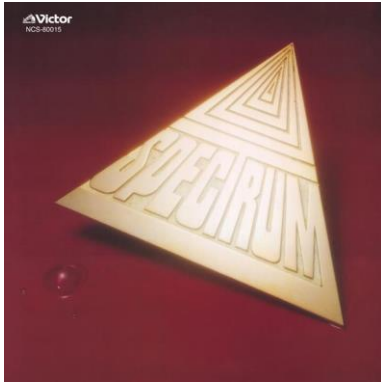
■ 企画・販売 : タワーレコード株式会社

■ 協力 : 株式会社ステレオサウンド

■商品タイトル

第1弾 2020年10月28日(水)

① スペクトラム (+4) (オリジナル発売：1979年8月/ビクター/SJX-20150)



傑作 1st アルバム。"アクトショー"(1)、"トマト・イッパツ"(8)、(2) ファースト・ウェイヴ(2)、"パッシング・ドリーム"(7)、"ロックン・ロール・サーカス"(9)など彼等の代表曲がずらり。レコーディングは1979年5月頃からアメリカ LA のワーナースタジオでベーシクトラックを、ノースハリウッドのアミーゴスタジオでダビングとミックスを行っている。(ボビー・ハタ、高田英男を含む日米混成のエンジニア・チームが担当。) ホーン・スペクトラム名義の"裕矢のテーマ""サーキットのバラード"などを含むボーナス・トラック4曲を追加収録。

今回の DSD マスタリングではスペクトラムならではの超絶テクニックをきっちりと捉え、抜群に歯切れの良いプラスセクションの音色の鮮度を格段に高めている。正にスペクトラムのマスターの完成形がここに！

<Track Lists> (作詞：宮下康仁 作曲・編曲・プロデュース：スペクトラム)

- | | |
|------------------------------------|--|
| (1) アクトショー | <ボーナス・トラック> |
| (2) ファースト・ウェイヴ | (11) トマト・イッパツ (シングル・ヴァージョン) (SV-6633-A) |
| (3) ノー・タイトル | (12) ロリータ (シングル・ヴァージョン) (SV-6633-B) |
| (4) ロリータ | (13) 裕矢のテーマ (作詞：伊里 渚 作曲・編曲：新田一郎) |
| (5) メモリー | (歌：新田一郎 演奏：ホーン・スペクトラム+スーパーリズムセクション (VV-5 A)) |
| (6) クェッション'81&'82 | (14) サーキットのバラード (作詞：伊里 渚 作曲・編曲：新田一郎) |
| (7) パッシング・ドリーム | (演奏：ホーン・スペクトラム+スーパーリズムセクション) (VV-5 B) |
| (8) トマト・イッパツ | |
| (9) ロックン・ロール・サーカス | |
| (10) 1920,アミューズ・カンパニー ～スマイル・フォー・ミー | |

② スペクトラム 2/オプティカル・サンライズ(+3)(オリジナル発売：1980年3月 /ビクター)



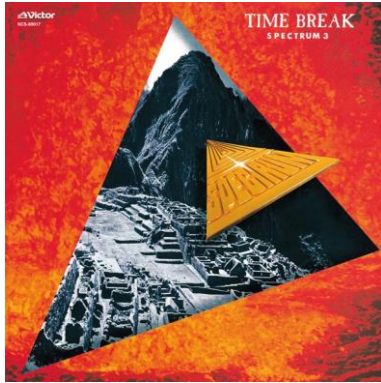
スペクトラムの傑作 2nd アルバム。有名外国人プロレスラーの入場テーマ曲のオリジナルとして、また、甲子園球場でも盛んに演奏される高校野球の応援曲の定番にもなっている"SUNRISE"(7)(10)、"F・L・Y" (2)、"侍ズ" (3)、大手企業の CM タイアップ曲としても知られる"イン・ザ・スペース" (4)などスペクトラムの代表曲がずらり。"アクトショー (LIVE)"などを含むボーナス・トラック3曲を追加収録。"モーション"(1)の作詞は桑田圭佑によるもの。後に KUWATA BAND のリーダーとなる今野多久郎 (perc)が正式加入。

<Track Lists> (作曲・編曲・プロデュース：スペクトラム)

- | | |
|--|---|
| (1) モーション (作詞：桑田圭祐) | <ボーナス・トラック> |
| (2) F・L・Y (作詞：MABO) | (8) イン・ザ・スペース (シングル・ヴァージョン) |
| (3) 侍ズ | (作詞：宮下康仁) (SV-6658-A) |
| (4) イン・ザ・スペース (作詞：宮下康仁) | (9) アクトショー (LIVE) (作詞：宮下康仁) (SV-6658-B) |
| (5) ミーチャン・ゴーイング・トゥ・ザ・ホイクエン (作詞：スペクトラム) | (10) サンライズ (シングル・ヴァージョン) |
| (6) ソング (作詞：宮下康仁) | (作詞：山川啓介) (SV-7008-A) |
| (7) サンライズ (作詞：山川啓介) | |

第2弾 2020年11月25日(水) 予定

③ スペクトラム3 / TIME BREAK (+2) (オリジナル発売：1980年11月/ ビクター)



スペクトラムの3rd アルバム。前半はほぼインスト曲で構成された壮大な組曲が占める、最も野心的な超大作。メンバー各人の演奏テクニックも随所に盛り込まれている。大手企業のCM曲にもなったラテン・ソウル"夜明け(アルバム)"(8)、超絶技巧を存分に披露した"あがき"(11)など人気曲を収録。"夜明け(アルバム)"(シングル・ヴァージョン)(13)などシングル曲をボーナス・トラックとして追加収録。

<Track Lists> (作詞・作曲・編曲・プロデュース：スペクトラム)

<Lyrische Suite "Respite of a Soldier" (抒情組曲「戦士の休息」)>

(1) Vol.1 Reminiscence (回想)

<Vol.2 Love (愛)>

(2) (i) His Native Place (故郷)

(3) (ii) Longing (思慕)

(4) (iii) Children (子供たち)

(5) (iv) God (神)

(6) Vol.3 An Illusion (幻夢) ~ The South Pacific (南太平洋)

(7) Vol.4 Awakening (目覚め)

(8) 夜明け(アルバム)

(9) すべて懺悔だけ

(10) 四季

(11) あがき

(12) やすらぎ

<ボーナス・トラック>

(13) 夜明け(アルバム) (シングル・ヴァージョン)

(作詞：近田春夫、スペクトラム) (SV-7061-A)

(14) やすらぎ(シングル・ヴァージョン) (SV-7061-B)

④ スペクトラム4/セカンド・ナビゲーション (+1) (オリジナル発売：1981年6月/ ビクター)



スペクトラムの4th アルバム。アーバン AOR"凍った太陽"(8)や"Paradise"(3)、プログレッシヴ・フュージョン"Slapdash"(6)は奥慶一作曲。"なんとなくスペクタクル"(7)は西慎嗣作曲で田中康夫著のベスト・セラー小説のタイトルのパロディ。クリアな渡辺直樹のヴォーカルが映えるシティ・ポップス歌謡"Needs"(10)は渡辺自身の作曲。プラスが占める割合が減り、ギターやヴォーカルの主張を明確にしたコンテンポラリー・サウンドが横行。"Night Night Knight" (シングル・ヴァージョン)(12)をボーナス・トラックとして追加。

<Track Lists> (編曲：スペクトラム プロデュース：大里洋吉 & スペクトラム)

(1) Night Night Knight (作詞：巻上公一 作曲：渡辺直樹)

(2) Summertime Story (作詞：宮下康仁 作曲：西慎嗣)

(3) Paradise (作詞：スペクトラム 作曲：奥慶一)

(4) Never Can Say Good-Bye (作詞：篠塚満由美 作曲：渡辺直樹)

(5) たそがれ Feedback (作詞：山川啓介 作曲：新田一郎)

(6) Slapdash (作曲：奥慶一)

(7) なんとなくスペクタクル (作詞：篠塚満由美 作曲：西慎嗣)

(8) 凍った太陽 (作詞：巻上公一 作曲：奥慶一)

(9) Elegant Lady (作曲：吉田俊之)

(10) Needs (作詞：篠塚満由美 作曲：渡辺直樹)

(11) Second Navigation (作詞：山川啓介 作曲：岡本郭男)

<ボーナス・トラック>

(12) Night Night Knight (シングル・バージョン)

(作詞：巻上公一 作曲：渡辺直樹) (SV-7128-A)

⑤ **スペクトラム 5/スペクトラム・ブラスバンド・クラブ** (オリジナル発売：1981年9月/ビクター)



ブラス・ロックバンド、スペクトラムが全国の中高生のブラスバンド・クラブ、つまり、吹奏楽部と共に描いた学園ミュージカル・コメディ。新田一郎をはじめホーン部隊を中心に作り上げられ、曲間にパロディ、コント、寸劇が配置される構成の企画アルバム。人気曲“イン・ザ・スペース”のブラスバンドヴァージョンも貴重。見逃せない演奏テクニックも随所に盛り込まれている。スペクトラムの楽曲は現在の甲子園球場でも盛んに演奏される高校野球の応援曲の大定番。本作はスペクトラムの高度な演奏テクニックと音楽性を手本にし、憧れてきた全国の中高生ブラスバンド・クラブに捧げられている。

Produced by 大里洋吉 & SPECTRUM 脚本：川原伸司

<Track Lists> Produced by 大里洋吉 & SPECTRUM 脚本：川原伸司

- (1) 「ブラスバンド・クラブのテーマ」 (作詞・作曲・編曲：兼崎順一)
- (2) 「I Love P.T.A.」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (3) 「たじろぎの英語教師 (グラマー・ティーチャー)」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：兼崎順一)
- (4) 「理科室のメロディ」 (作曲・編曲：兼崎順一)
- (5) 「小さく前へならえ」 (作詞・作曲・編曲：兼崎順一)
- (6) 「青春とはなんなんだ!」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (7) 「エレガント・レディ (うたたねの境地)」 (作曲・編曲：吉田俊之)
- (8) 「ファンキー身体検査」 (作詞：新田一郎、綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (9) 「恋の給食タイム」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (10) 「先生のひとり言」 (作詞・作曲・編曲：兼崎順一)
- (11) 「ガンバレ応援団」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (12) 「正調もんぎり節 (男女交際篇)」 (作詞・作曲・編曲：新田一郎)
- (13) 「おちゃめな校長先生」 (作詞・作曲・編曲：兼崎順一)
- (14) 「先生がママにキスをした」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：奥 慶一)
- (15) 「遠足ロックン・ロール」 (作詞・作曲・編曲：新田一郎)
- (16) 「もういくつ寝ると18才未満 (伊勢佐木町ブルース)」 (作詞：鈴木庸一 作曲・編曲：新田一郎)
- (17) 「コンクールが近いよ」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (18) 「マイ・フレンズ」 (作詞：綾狩一郎 作曲・編曲：新田一郎)
- (19) 「イン・ザ・スペース」 (作曲・編曲：スペクトラム)
- (20) 「1920、アミューズ・カンパニー」 (作曲・編曲：スペクトラム)

<スペクトラム>

キャンディーズのバックバンド MMP (ミュージック・メイツ・プレイヤーズ)、日本初のホーン・ユニット、ホーン・スペクトラムなどの活動を経て、新田一郎 (tp, vo) をリーダーとして、兼崎順一(tp)、渡辺直樹 (b,vo)、西 慎嗣(g,vo)、岡本郭男(ds)、奥 慶一(key)、吉田俊之(tb)らでスペクトラムを結成。(後に今野 多久郎(perc)が加入) 各メンバーはそれぞれ、サザンオールスターズのサポートや、様々な音楽シーンの最前線で活動する精鋭揃いで、1979年8月、アメリカ LA 録音による 1st アルバム発表のレコード・デビューから、1981年9月に行われた日本武道館での解散コンサートまでの約2年間、3管のホーンをフロントに、タイトで歯切れの良いブラス・サウンドを打ち出し、後に AB'S を支える最強リズム・セクションによる躍動感溢れるグルーブ、超人的な演奏テクニックに裏付けられた綿密かつ高度な音楽性と創造力を武器に、シカゴやブレッカー・ブラザーズ、海外のファンクやディスコ、P-FUNK などの要素を吸収しながら、ファルセット(裏声)中心のヴォーカル、16ビートのリズムなど、ブラック・ミュージックのスタイルを日本の歌謡界にいち早く導入した革新性、妥協のない音質の追及、派手な甲冑衣装で楽器演奏しながらのダンス〜ライブ・パフォーマンスなどヴィジュアル的に見せる要素を重視したエンターテインメント性、TVなどのメディアへの積極的な露出は、他に類のない特異的な存在であり、唯一無二の"ブラス・ロックバンド"として今も高く評価されている。日本の音楽シーンのレベル・アップに確実に貢献したその功績は不滅である。

<SPECTRUM>

新田一郎 (tp, flh, tb, vo)

兼崎順一 (tp, flh)

渡辺直樹 (b, vo)

吉田俊之 (tb)

岡本郭男 (ds, perc)

奥 慶一 (key, synth)

西 慎嗣 (g, vo)

今野多久郎 (perc)

(2nd アルバムから正式加入)

菅原由紀 (perc) (サポート参加)

